

# 令和8年度（2026年度） 目黒区麻しん抗体検査・予防接種事業のお知らせ

麻しんは、麻しんウイルスの空気感染あるいは飛沫感染、接触感染によって起こる病気で、発熱、せき、鼻汁等の症状に続いて発疹が出ます。感染力が強く、十分な免疫を持たない人が感染するとほぼ100%発症します。合併症として中耳炎、肺炎、脳炎等を起こすことがあり、時に重症化し後遺症が残ったり、死亡することがあります。

現在、国内の麻しん患者数が前年より大きく増加し、都市部を中心に集団感染が発生しています。この流行については、ワクチンの未接種や1回接種など、麻しんに対する免疫が不十分な層での発症が多く、海外からのウイルス流入も影響していると考えられています。麻しんの予防には、免疫を有していることが重要であり、麻しん含有ワクチンの予防接種が最も有効です。

このため、目黒区では麻しん抗体検査・予防接種事業を実施し、予防接種による確実な免疫の獲得を推進します。本事業では、まず麻しん抗体検査を行い、麻しんに対する免疫が不十分と認められたかたには公費による麻しん含有ワクチン予防接種を実施します。

## 1 抗体検査の対象となるかた

抗体検査日現在、目黒区内に住所を有する20歳以上60歳未満のかたで、麻しん抗体検査（血液検査）を希望するかた

ただし、次のいずれかに該当するかたは対象外です。

- ア 既に麻しん含有ワクチンの接種を2回以上受けていることが母子健康手帳等で確認できるかた
- イ 麻しんの確定診断を受けたことのあるかた
- ウ 本事業により既に麻しん抗体検査を受けたことのあるかた

## 2 予防接種の対象となるかた

接種日現在、目黒区内に住所を有する20歳以上60歳未満のかたで、本事業による抗体検査の結果、接種が必要と認められ、麻しん含有ワクチンの接種を希望するかた

ただし、次のいずれかに該当するかたは対象外です。（接種当日の可否については裏面8をご参照ください）

- ア 妊娠中のかた（妊娠を希望するかたは、予防接種後2か月は避妊してください）
- イ 既に麻しん含有ワクチンの接種を2回以上受けていることが母子健康手帳等で確認できるかた
- ウ 麻しんの確定診断を受けたことのあるかた

## 3 抗体検査・予防接種の実施場所

区内契約医療機関のみ

※本事業は目黒区独自の制度です。公費による抗体検査及び予防接種を受けられるのは、区公式ウェブサイトの契約医療機関名簿に掲載されている区内契約医療機関のみです。右記コードよりご確認ください。



## 4 検査方法と使用ワクチン

検査方法：血液検査（EIA法）

※EIA法で16.0未満の場合、麻しんに対する抗体を十分に有していないと判断します。

使用ワクチン：MR（麻しん風しん混合）ワクチン又は麻しん単抗原ワクチン

## 5 抗体検査・予防接種の費用

目黒区が交付する「麻しん抗体検査票」、「MR（麻しん風しん混合）ワクチン・麻しん単抗原ワクチン任意予防接種予診票」を使用し、区内契約医療機関で麻しん抗体検査及び予防接種を受けた場合、費用は**無料**です。

## 6 抗体検査・予防接種の受けかた

契約医療機関名簿に掲載されている区内契約医療機関に、直接お申し込みください。

受診の際は、目黒区が交付した検査票・予診票および下記の必要書類を持参してください。

まず本事業による抗体検査を行い、抗体価が不十分と認められた場合に、予防接種を受けることができます。

なお、過去に実施した麻しん抗体検査の結果による接種はできません。本事業による抗体検査を受けてください。

### 必要書類

本人の住所と年齢が確認できるもの（マイナンバーカード、運転免許証、資格確認書等）  
お持ちであれば母子健康手帳

## 7 予防接種の効果と副反応について

予防接種を受けたかたのうち、95%以上のかたが免疫を獲得し、麻しんを予防できます。

### 主な副反応

#### (1) MR(麻しん風しん混合)ワクチン

主な副反応は、発熱や、発疹です。これらの症状は、接種後7～10日の間に多くみられます。接種直後から翌日に過敏症状と考えられる発熱、発疹、掻痒(かゆみ)等がみられることがありますが、これらの症状は通常1～3日でおさまります。ときに、接種部位の発赤、腫脹(腫れ)、硬結(しこり)、リンパ節の腫れ等がみられることがありますが、いずれも一過性で通常数日中に消失します。

稀に生じる重い副反応としては、アナフィラキシー様症状(ショック症状、じんましん、呼吸困難等)、急性血小板減少性紫斑病(紫斑、鼻出血、口腔粘膜の出血等)、脳炎及びけいれん等が起こる可能性があります。

#### (2) 麻しんワクチン

主な副反応は、接種後5～14日を中心として、発熱、麻しん様の発疹がみられます。ただし、発熱の期間は通常1～2日で、発疹は少数の紅斑や丘疹から自然麻しんに近い場合もあります。その他に接種した部位の発赤、腫脹(腫れ)、熱性けいれん、じんましん等が認められることがありますが、いずれもそのほとんどは一過性です。

稀に生じる重い副反応としては、アナフィラキシー様症状、脳炎脳症、急性血小板減少性紫斑病が起こる可能性があります。

## 8 予防接種を受けることができないかた

以下は、表面2で対象となるかたであっても、当日の体調等により予防接種を受けることができないかたです。

#### (1) 明らかに発熱のあるかた

一般的に、体温が37.5℃以上の場合を指します。

#### (2) 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかなかた

急性の病気で薬を飲む必要があるようなかたは、その日は接種を見合わせるのが原則です。

#### (3) その他、医師が不適当な状態と判断したかた

## 9 予防接種を受けた後の一般的注意事項

(1) 予防接種を受けた後30分間は、接種した医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。急な副反応が、この間に起こることがあります。

(2) 接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすることはやめてください。

(3) 当日は、はげしい運動や大量の飲酒はさけてください。

(4) 接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに接種した医師の診察を受けてください。

## 10 予防接種による健康被害救済制度について

この接種は任意接種のため健康被害を受けた場合は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法及び特別区自治体総合賠償責任保険に基づく救済制度を受けることになります。

※給付申請の必要が生じた場合には、診察した医師、目黒区保健予防課予防接種係へご相談ください。

<お問い合わせ>

【保健予防課予防接種係】

〒153-8573 目黒区上目黒2-19-15

電話:03-5722-7047

F a x:03-5722-9890

(土・日・祝日を除く、平日8:30～17:00)